



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	永大産業(株)本社雨天積込場 増築工事		
建設地	住之江区平林南2丁目		
建物用途	雨天積込場		
建築主			
設計者			
竣工年	2027年1月 予定		
構造/階数	S造 / 地上1階		
敷地面積	43782.42 m ²		
建築面積	2665.00 m ²		
延床面積	2665.00 m ²		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>C ★★★★★</p> <p>BEE = 0.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み #DIV/0! ③上記+②以外のオンサイト手法 #DIV/0! ④上記+オフサイト手法 #DIV/0!</p> <p>(kg-CO₂eqe/年・m²)</p> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 1.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>壁長さ比率や天井高に余裕をもたせゆとりのある空間を計画した。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>対象外。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 動かせないものを極力無くし、設備や空間のプランニングの自由度を高めた。 天井高を高くすることで広さ感、開放感に配慮した。 	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空地を設け、敷地内の歩行者空間等へ風を導き、暑熱環境緩和に努めた。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> LED照明を採用し、省エネルギーに努めた。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 発泡系の断熱材不使用とし、環境に配慮した。 鉄骨造により躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓越風向き面を開放し、風の通り道を遮らないよう工夫した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.4

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO ₂ 削減		0.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	0.0 特になし
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0 緑地を計画
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0 空地を多く設けた
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0 卓越風向き面を開放した
配慮事項	空地を多く設け、風の通り道を確保した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		0.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	0.0 対象外
配慮事項	対象外	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		0.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	0.0 LED照明の採用
配慮事項	LED照明を採用し、省エネルギーに努めた。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 対象外 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI _m] -